

編集後記

本号の巻頭言は、信州大学の中込教授にお願い致しました。建築鉄骨における入熱・パス間温度の管理の位置付けから最近の研究成果の報告、注意点をより具体的に述べられています。先生にはご多忙のところ玉稿をお寄せ頂き、誠に有り難うございました。誌面を借りまして厚く御礼申し上げます。

本文では18編の投稿があり前号に増して、ボリュームのある技報となりました。先の巻頭言に則した研究・報告、コスト縮減を目指した少数主桁橋の設計・施工、また構造の合理化を図った合成構造の研究・開発など、ファブリケーターとしての課題が山積みであるだけに積極的な投稿に繋がっています。また道路橋示方書：(社)日本道路協会、平成14年の大改訂では、性能照査型の規定と耐久性が大きなテーマとなっています。その耐久性に関しては疲労の問題があり新設橋だけではなく、既設構造物のメンテナンスに対処する必要があります。これらの課題に一つ一つ取組み、今後ともその成果を宮地の技術として報告出来れば幸いです。

執筆者を始め多くの関係者の御協力により本号を発刊することが出来たことに感謝致します。

技報編集委員会

委員長	成宮隆雄			
副委員長	野田博章	太田武美		
委員	大河原邦男	佐藤浩明	田中信尚	
	坪井幹男	永見研二	西垣登	
	能登宥愿*	牧野克彦	松本泰成	
	宮沢智明	百瀬敏彦	矢ヶ部彰	
	矢崎満	山下久生*	吉川薫	

*印 事務局兼務

宮地技報 第18号

発行日 平成15年3月27日

発行所 株式会社宮地鐵工所

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町7番5号

(豊和大伝馬町ビル) TEL 03(3639)2111(代)

印刷所 望月印刷株式会社